

下鴨神社奉納

場所 下鴨神社 舞殿・橋殿

日時 令和8年5月4日(月) 午後1時

主催 下鴨神社
宮司 友田重臣

共催 日本古武道振興会
会長 柳生耕一

下鴨神社奉納演武

舞 殿

橋 殿

参加流派 40 参加人数 185 名 (直会参加 148 名)

- | | | |
|-----------------------|----|--------------------------------|
| 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原 清忠) | 1 | |
| 小野派一刀流劍術 (笹森 ゆき子) | 2 | 神道夢想流杖術/一角流十手術/一心流鎖鎌術 (江角 和敏) |
| 無想神傳流拔刀術 (小川 武) | 3 | 鞍馬流劍術 (柴田 章雄) |
| 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 宏太) | 4 | 竹内流捕手腰廻 (竹内 藤十郎) |
| 貫心流劍術 (濱野 省三) | 5 | 神道夢想流杖術 (濱地 光男) |
| 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏) | 6 | 小野派一刀流 (矢吹 裕二) |
| 神夢想林崎流居合術 (笹森 ゆき子) | 7 | 神道無念流劍術 (小川 武) |
| 兵法タイ捨流 (上原 エリ子) | 8 | 無限神刀流居合術 (平岡 祥淑) |
| 天道流 (木村 恭子) | 9 | 戸山流拔刀道 (中村 朋子) |
| 双水執流小具足腰之廻組討 (宇佐美 裕司) | 10 | 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀) |
| 天然理心流 (大塚 篤) | 11 | 直心影流薙刀術 (谷口 克美) |
| 風傳流槍術 (渡邊 桂一) | 12 | 尾張貫流槍術 柳生新陰流兵法 (下村 幸裕) |
| 宝蔵院流高田派槍術 (駒喜多 学) | 13 | 関口流拔刀術 (松岡秀樹) 併伝兵法二天一流 (松岡 秀樹) |
| 真蔭流柔術 (宇佐美 裕司) | 14 | 夢想神伝居合林崎重信流詰合 (関 展秀) |
| 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平) | 15 | 森重流砲術 (長塚 正晃) |
| 無雙神傳英信流拔刀兵法 (森本 邦生) | 16 | 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司) |
| 柳生制剛流拔刀 (柳生 耕一) | 17 | 心形刀流武芸形 (小林 強) |
| 田宮流居合術 (妻木 達夫) | 18 | 琉球古武術 (井上 貴勝) |
| 荒木流軍用小具足 (千葉 明) | 19 | 淺山一傳流兵法 (関 展秀) |
| 立身流 (加藤 紘) | 20 | 澁川一流柔術 (森本 邦生) |
| 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一) | 21 | |

21 流派 102 名 19 流派 83 名

令和 8 年 (2026) 5 月 4 日

下鴨神社 奉納演武順序

舞 殿

一、小笠原流弓馬術礼法 (小笠原長清)

二、小野派一刀流劍術 (伊藤一刀齋景久)

三、無想神傳流拔刀術 (林崎甚助重信)

小笠原 清 忠 (東京都)

小笠原 清基
小笠原 清誠
佐保川 友誠
塩谷 咲季
寺尾 友浩

笹森 ゆき子 (東京都)

宮後 正典
笹井 藤章
笹森 眞理香
酒井 眞子
笹森 眞香

小川 武 (東京都)

高萩 建一
城崎 太郎
掛川 彦昭

四、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

飯
篠
宏
太（千葉県）

荒成櫻近杉
野毛井藤本
祥俊智昇
弘也紀平

五、貫心流劍術（宍戸司箭家俊）

濱
野
省
三（兵庫県）

濱福河谷松竹福矢
野浦野口本内浦島
省清光信大清亜
三文彦彦歩輔隆優

六、細川家伝統兵法二天一流（新免武蔵守玄信）

宮
田
和
宏（福岡県）

宮吉長篠
田村富田
和壯昭雅
宏平長夫

十、双水執流小具足腰之廻組討（二神半之助正聴）

宇佐見 裕司（埼玉県）

宇佐美 裕二 司

馬場 真一郎

新井 貴典

左古 貴典

十一、天然理心流（近藤内蔵之助藤原長裕）

大塚 篤（茨城県）

栗原 正徳

助川 眞治

吉田 哲人

松永 典弘

キム・ジャンヤル

十二、風傳流槍術（中山源兵衛吉成）

渡邊 桂一（神奈川県）

妻木 眞亮

熊田 敏也

小嶋 昭志

嶋元 義幸

梅元 義幸

梅元 義幸

十三、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院覺禪房法印胤栄）

駒喜多 学（京都府）

十四、真蔭流柔術（今泉八郎柳定斎源定智）

若駒 林多 幹
土屋 明
半田 裕
田山 昭
富田 和
森山 彦
西村 治
鹿野 文
泉野 浩

十五、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

宇佐見 裕司（埼玉県）
宇佐美 裕司
瀬沼 健典
左古 貴典

十六、無雙神傳英信流拔刀兵法（林崎甚助重信）

石本 一平（兵庫県）
石本 一平
中岡 恒夫
徳岡 秀一
森本 邦生（広島県）
内住 信邦

十七、柳生制剛流拔刀（永早長左衛門信正）

十八、田宮流居合術（田宮平兵衛業正）

十九、荒木流軍用小具足（荒木夢仁齋源秀繩）

二十、立身流（立身三京）

堂元慎介
原田淑子

柳生耕一（愛知縣）
紀ノ崎剛
山田尚真太郎
林田尚子

妻木達夫（神奈川縣）
石川木達夫
長野川孝定
公原照俊
比嘉宗平

千葉明（神奈川縣）
千葉葉明

加藤紘（千葉縣）
加藤裕介
江尻裕介

二十一、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

柳 紀 柳 耕 一
日 野 今 細 紀 柳 生 一
ノ 生 一
田 村 村 川 崎 生 一
善 明 和 耕 一
久 徳 寛 宏 剛 一
（愛知愚）

橋 殿

二、神道夢想流杖術／一角流十手術／一心流鎖鎌術

(夢想権之助勝吉／権藤角衛門好正／念阿弥慈恩)

三、鞍馬流劍術(大野將監)

四、竹内流捕手腰廻(竹内中務大輔久盛)

江 角 和 敏
(東京都)

下 朝 田 澤 鹿 青
間 奈 中 田 野 木
比 辰 遼 雄 幹 哲
頼 樹 郎 太 貴 也
龍 敏

柴 田 章 雄
(東京都)

柴 柴 柴 松
田 田 田 井
章 章 章 康
雄 彩 雄 登
水 一

竹 内 藤 十 郎
(岡山県)

竹 竹 竹 竹
内 内 内 内
勢 秀 智 隆
至 將 隆 至 將
ダイビット・リー・エングラム

五、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

六、小野派一刀流（伊藤一刀齋景久）

七、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

八、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

平	小	矢	濱
漆磯鈴平	大中城土	渡加粕	鈴尾松鈴上富
岡	川	吹	地
畑部木岡	木野崎屋	邊藤井	木関田木川田
祥	正	裕	光
詔力貴祥	賢雅建正	雅岳	久俊克裕純
淑	武	二	男
一夫之淑	二浩郎則	樹司誠	之輔也司一隆
（静岡県）	（東京都）	（東京都）	（愛知県）

十二、尾張貫流槍術 柳生新陰流兵法（津田權之丞信之・柳生兵庫助利藏）

下村幸裕（愛知県）

十三、関口流拔刀術（松岡秀樹）併伝兵法二天一流

（関口八郎左衛門氏業新免武藏藤原玄信）

松岡秀樹（熊本県）

十四、夢想神伝居合林崎重信流詰合（林崎甚助重信）

関展秀（茨城県）

十五、森重流砲術（森重鞞負都由）

長塚正晃（東京都）

長塚正晃
石原正智
林由佳理
藤沢文子
バクーシュ・アレキサンドル

関生和之
安生和之

大山内隆明
山西隆明

川治裕司
青木俊哉
竹内良裕
麻内良裕

十六、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

十七、心形刀流武芸形（伊庭是水軒秀明）

十八、琉球古武術

梶 高 塚 靖 司
前 高 塚 橋 慶 里 太
樹 慶 里 太
（栃木県）

小 林 強
野 伊 振 加 小 林 強
仲 東 角 藤 林 強
治 大 卓 尚 強
行 輔 哉 大 強
（三重県）

井 上 貴 勝
楠 宮 道 山 上 貴 勝
見 本 正 口 上 貴 勝
匡 一 泰 量 貴 勝
崇 彦 弘 也 勝
（東京都）

十九、淺山一傳流兵法（淺山一傳齋重晨）

二十、澁川一流柔術（首藤藏之進滿時）

関

植山菅長後黒塚
谷

田口野川藤澤田

展

暉彰 裕大慧佳展

秀

久吾颯介輔大壺秀

（茨城県）

森

原堂内森

本

田元住本

邦

淑慎信邦

生

子介之生

（広島県）

古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によつて得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもつて自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鏡」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鏡」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。

令和二年七月五日(日)には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



日本古武道振興会

事務局 〒155-0032 東京都世田谷区代沢1-13-2 笹森ゆき子

ホームページ <http://kobushin.jp/>
メール kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp